序

わたしがこの一文を自費出版した目的は2つある。

2013年8月1日、厚労省は、3年間にわたって10%の生活保護費を削減することを決定した。これに対し、わたしは何ができるだろう。わたしは、生活保護を受けてないから、原告にはなれない。しかし、わたしには、ペンの力がある。この一文を出すことで、今回の保護費削減に抗議の意思を示したい。それが、第一の目的である。

もう一つは、明日の社会を担う学生に読んでいただきたいからである。当事者の声や、わたしが行った口頭意見陳述、わたしの訴えを処分庁がどのような論法で却下したかを知ることは、机上の勉強ではできないことがあると思う。

生活保護の削減について、全国生活と健康を守る会連合会は全国的な不服審査を行うことを決めた。この一文が、その一助になることを願っている。

2013年9月7日　西川 宜秀